

略	構造用ケーブル		シラス鋼ロイヤローフ) 二〇〇 三の付表の区分に応じてそれぞれ の表に掲げる破断荷重(単位 キ ロニュートン)に二分の千を乗じ た数値を構造用ケーブルの種類及 び形状に応じて求めた有効断面積 (単位 平方ミリメートル)で除 じた数値
	略	略	略
略	略	略	略
この表において、SKK四〇〇及びSKK四九〇は、JIS A五五二 五(鋼管くい) 一九九四に適合するSKK四〇〇及びSKK四九〇を、 SHK四〇〇、SHK四〇〇M及びSHK四九〇Mは、JIS A五五二 六(H形鋼くい) 一九九四に適合するSHK四〇〇、SHK四〇〇M及 びSHK四九〇Mを、SS四〇〇、SS四九〇及びSS五四〇は、JIS G三二〇一(一般構造用圧延鋼材) 一九九五に適合するSS四〇〇、 SS四九〇及びSS五四〇を、SM四〇〇A、SM四〇〇B、SM四〇〇 C、SM四九〇A、SM四九〇B、SM四九〇C、SM四九〇YA、SM 四九〇YB、SM五二〇B及びSM五二〇Cは、JIS G三二〇六(溶 接構造用圧延鋼材) 一九九九に適合するSM四〇〇A、SM四〇〇B、 SM四〇〇C、SM四九〇A、SM四九〇B、SM四九〇C、SM四九 〇YA、SM四九〇YB、SM五二〇B及びSM五二〇Cを、SMA四〇〇 AW、SMA四〇〇AP、SMA四〇〇BW、SMA四〇〇BP、SMA 四〇〇CW、SMA四〇〇CP、SMA四九〇AW、SMA四九〇AP、			

略			
	略	略	略
略	略	略	略
この表において、SKK四〇〇及びSKK四九〇は、JIS A五五二 五(鋼管くい) 一九九四に定めるSKK四〇〇及びSKK四九〇を、S HK四〇〇、SHK四〇〇M及びSHK四九〇Mは、JIS A五五二六 (H形鋼くい) 一九九四に定めるSHK四〇〇、SHK四〇〇M及びS HK四九〇Mを、SS四〇〇、SS四九〇及びSS五四〇は、JIS G 三二〇一(一般構造用圧延鋼材) 一九九五に定めるSS四〇〇、SS四 九〇及びSS五四〇を、SM四〇〇A、SM四〇〇B、SM四〇〇C、S M四九〇A、SM四九〇B、SM四九〇C、SM四九〇YA、SM四九〇 YB、SM五二〇B及びSM五二〇Cは、JIS G三二〇六(溶接構造 用圧延鋼材) 一九九九に定めるSM四〇〇A、SM四〇〇B、SM四〇 〇C、SM四九〇A、SM四九〇B、SM四九〇C、SM四九〇YA、S M四九〇YB、SM五二〇B及びSM五二〇Cを、SMA四〇〇AW、S MA四〇〇AP、SMA四〇〇BW、SMA四〇〇BP、SMA四〇〇C W、SMA四〇〇CP、SMA四九〇AW、SMA四九〇AP、SMA四			

SMA四九〇BW、SMA四九〇BP、SMA四九〇CW及びSMA四九〇CPは、JIS G三一一四（溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材）一九九八に適合するSMA四〇〇AW、SMA四〇〇AP、SMA四〇〇BW、SMA四〇〇BP、SMA四〇〇CW、SMA四〇〇CP、SMA四九〇AW、SMA四九〇AP、SMA四九〇BW、SMA四九〇BP、SMA四九〇CW及びSMA四九〇CPを、SN四〇〇A、SN四〇〇B、SN四〇〇C、SN四九〇B及びSN四九〇Cは、JIS G三三三六（建築構造用圧延鋼材）一九九四に適合するSN四〇〇A、SN四〇〇B、SN四〇〇C、SN四九〇B及びSN四九〇Cを、SNR四〇〇A、SNR四〇〇B及びSNR四九〇Bは、JIS G三三三八（建築構造用圧延棒鋼）一九九六に適合するSNR四〇〇A、SNR四〇〇B及びSNR四九〇Bを、SGH四〇〇、SGC四〇〇、SGH四九〇及びSGC四九〇は、JIS G三三〇二（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）一九九八に適合するSGH四〇〇、SGC四〇〇、SGH四九〇及びSGC四九〇を、CGC四〇〇及びCGC四九〇は、JIS G三三一一（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）一九九四に適合するCGC四〇〇及びCGC四九〇を、SGLH四〇〇、SGLC四〇〇、SGLH四九〇及びSGLC四九〇は、JIS G三三三二（溶融五十五パーセントアルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）一九九八に適合するSGLH四〇〇、SGLC四〇〇、SGLH四九〇及びSGLC四九〇を、UGLC四〇〇及びUGLC四九〇は、JIS G三三三三（塗装溶融五十五パーセントアルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）一九九八に適合するUGLC四〇〇及びUGLC四九〇を、SSC四〇〇は、JIS G三三五〇（一般構造用軽量形鋼）一九八七に適合するSSC四〇〇を、SDP1T、SDP1F、SDP1G、SDP1H、SDP1J及びSDP1Kは、それぞれ

九〇BW、SMA四九〇BP、SMA四九〇CW及びSMA四九〇CPは、JIS G三一一四（溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材）一九九八に定めるSMA四〇〇AW、SMA四〇〇AP、SMA四〇〇BW、SMA四〇〇BP、SMA四〇〇CW、SMA四〇〇CP、SMA四九〇AW、SMA四九〇AP、SMA四九〇BW、SMA四九〇BP、SMA四九〇CW及びSMA四九〇CPを、SN四〇〇A、SN四〇〇B、SN四〇〇C、SN四九〇B及びSN四九〇Cは、JIS G三三三六（建築構造用圧延鋼材）一九九四に定めるSN四〇〇A、SN四〇〇B、SN四〇〇C、SN四九〇B及びSN四九〇Cを、SNR四〇〇A、SNR四〇〇B及びSNR四九〇Bは、JIS G三三三八（建築構造用圧延棒鋼）一九九六に定めるSNR四〇〇A、SNR四〇〇B及びSNR四九〇Bを、SGH四〇〇、SGC四〇〇、SGH四九〇及びSGC四九〇は、JIS G三三〇二（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）一九九八に定めるSGH四〇〇、SGC四〇〇、SGH四九〇及びSGC四九〇を、CGC四〇〇及びCGC四九〇は、JIS G三三一一（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）一九九四に定めるCGC四〇〇及びCGC四九〇を、SGLH四〇〇、SGLC四〇〇、SGLH四九〇及びSGLC四九〇は、JIS G三三三二（溶融五十五パーセントアルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）一九九八に定めるSGLH四〇〇、SGLC四〇〇、SGLH四九〇及びSGLC四九〇を、UGLC四〇〇及びUGLC四九〇は、JIS G三三三三（塗装溶融五十五パーセントアルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）一九九八に定めるUGLC四〇〇及びUGLC四九〇を、SSC四〇〇は、JIS G三三五〇（一般構造用軽量形鋼）一九八七に定めるSSC四〇〇を、SDP1T、SDP1F、SDP1G及びSDP1Hは、それぞれJIS G三三五一（チッキアクト）一九七九に定めるS

JIS G3352(フラキルト) 11003に適合するSDP-T、SDP-L、SDP-G、SDP-II、SDP-IV、SDP-V及びSDP-VI、SWH400及びSWH400Lは、JIS G3353(一般構造用溶接軽量H型钢) 1990に適合するSWH400を、STK400及びSTK490は、JIS G3444(一般構造用炭素鋼管) 1994に適合するSTK400及びSTK490を、STKR400及びSTKR490は、JIS G3466(一般構造用角形鋼管) 1988に適合するSTKR400及びSTKR490を、STKN400W、STKN400B及びSTKN490Bは、JIS G3475(建築構造用炭素鋼管) 1996に適合するSTKN400W、STKN400B及びSTKN490Bを、四・六、四・八、五・六、五・八及び六・八は、JIS B1051(炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質 第一部…ボルト、ねじ及び植え込みボルト) 11000に適合する強度区分である四・六、四・八、五・六、五・八及び六・八を、SC480は、JIS G5101(炭素鋼鋳鋼品) 1991に適合するSC480を、SCW410CF、SCW480CF及びSCW490CFは、JIS G5101(溶接構造用遠心力鋳鋼管) 1991に適合するSCW410CF、SCW480CF及びSCW490CFを、SUS304A、SUS316A、SUS304N1A及びSCS13AA CFは、JIS G4321(建築構造用ステンレス鋼材) 11000に適合するSUS304A、SUS316A、SUS304N1A及びSCS13AA CFを、A1150及びA4150は、JIS B1054(耐食ステンレス鋼製締結用部品の機械的性質 第一部…ボルト、ねじ及び植え込みボルト) 11001に適合するA1150及びA4150は、SR1355及びSR1955、SD195A、SD195B、SD345及びSD390は、

DP-T、SDP-L、SDP-G及びSDP-IIを、SWH400及びSWH400Lは、JIS G3353(一般構造用溶接軽量H型钢) 1990に定めるSWH400を、STK400及びSTK490は、JIS G3444(一般構造用炭素鋼管) 1994に定めるSTK400及びSTK490を、STKR400及びSTKR490は、JIS G3466(一般構造用角形鋼管) 1988に定めるSTKR400及びSTKR490を、STKN400W、STKN400B及びSTKN490Bは、JIS G3475(建築構造用炭素鋼管) 1996に定めるSTKN400W、STKN400B及びSTKN490Bを、四・六、四・八、五・六、五・八及び六・八は、JIS B1051(炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質 第一部…ボルト、ねじ及び植え込みボルト) 11000に定める強度区分である四・六、四・八、五・六、五・八及び六・八を、SC480は、JIS G5101(炭素鋼鋳鋼品) 1991に定めるSC480を、SCW410CF、SCW480CF及びSCW490CFは、JIS G5101(溶接構造用遠心力鋳鋼管) 1991に定めるSCW410CF、SCW480CF及びSCW490CFを、SUS304A、SUS316A、SUS304N1A及びSCS13AA CFは、JIS G4321(建築構造用ステンレス鋼材) 11000に定めるSUS304A、SUS316A、SUS304N1A及びSCS13AA CFを、A1150は、JIS B1054(ステンレス鋼製耐食ねじ部品の機械的性質) 1995に定めるA1150を、SR1355及びSR1955、SD195A、SD195B、SD345及びSD390は、JIS G3111(鉄筋コンクリート用棒鋼) 1987に定めるSR1355及びSR1955、SD195A、SD195B、SD345及びSD390を、SRRI355及びSDRI355は、

JIS G3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 一九八七に適合するSR135及びSR195、SD195A、SD195B、SD345及びSD390を、SR135及びSDR135は、JIS G3117 (鉄筋コンクリート用再生棒鋼) 一九八七に適合するSR135及びSDR135を、それぞれ表すものとする。以下第二の表において同様とする。

二・三 略

第二 略

一 略

略		鋼材等の種類及び品質	基準強度 (単位 一平方ミリメートルにつきニュートン)
ステン レス鋼	構造用 鋼材	SUS304A SUS316A SDP四 SDP五	135
		SUS304N1A SDP六	335
略	略	略	略

JIS G3117 (鉄筋コンクリート用再生棒鋼) 一九八七に定めるSR135及びSDR135を、それぞれ表すものとする。以下第二の表において同様とする。

二・三 略

第二 溶接部の許容応力度の基準強度

一 溶接部の許容応力度の基準強度は、次号に定めるもののほか、次の表の数値 (異なる種類又は品質の鋼材を溶接する場合においては、接合される鋼材の基準強度のうち小さい値となる数値。次号並びに第四第一号本文及び第一号において同じ。) とする。

略		鋼材等の種類及び品質	基準強度 (単位 一平方ミリメートルにつきニュートン)
ステン レス鋼	構造用 鋼材	SUS304A SUS316A	135
		SUS304N1A	335
略	略	略	略

二 略

第三・第四 略

附 則

- 1 昭和五十五年建設省告示第七百九十四号は、廃止する。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

二 略

第三・第四 略

附 則

- 1 昭和五十五年建設省告示第七百九十四号は、廃止する。